

山梨県甲府市方言の副助詞

田中 ゆかり

I. はじめに

①調査対象地:自治大臣官房文書課(1997)によると、山梨県甲府市は、山梨県の中央部に位置し、市域の6割を山地が占める起伏の激しい地形である。甲州街道の宿駅であった中心部を市街地とする人口約20万人の都市で、JR中央線・中央自動車道・国道20号線などによって、首都圏へのアクセスは比較的容易である。また、昭和町は、甲府市の西部に位置し、中央自動車道の甲府昭和インターチェンジを有している。人口は、約1万4千人。甲府市・昭和町の方言は、稲垣正幸・清水茂夫(1983)によると、山梨県西部方言に属している。

②調査年月日:1998年2月2日(月) 13:00~14:30

③話者:山田正一(やまだ せいいち) 大正6(1917)年11月生、(80歳)男性。甲府市内で生育、外住歴は無い。ヤマダ精機(有)取締役。先代までは地元で農業(米麦・養蚕)を営んでいた。配偶者も甲府市生育。

同席者1:荻野たまよ(おぎの たまよ) 大正8(1919)年生、(78歳)女性。山梨県中巨摩郡昭和村出身、小学校卒業後、家族で中国へ渡る。昭和28(1953)年帰国以来、甲府市在住。主婦。配偶者は甲府市生育。

同席者2:丸茂柗一(甲府市老人クラブ連合会事務局長)/同席者3:横谷千奈美(同連合会事務局)

④調査者・調査場所:田中ゆかり・甲府市老人クラブ連合会事務局(甲府市役所南庁舎2号館)

⑤調査方法:統一調査票による質問調査。

調査票を拡大コピーしたものを一文ずつ提示し、「ご自身は、どうおっしゃいますか」という聞き方を用いた翻訳式調査。調査は、項目番号にしたがって二巡した。一巡目は副助詞を含む部分に焦点を当てたかたちで質問し、二巡目は質問文全体を翻訳しながら読み上げてもらう方法をとった。一巡目に、副助詞当該部分に焦点を当てた形で質問した理由は、副助詞部分以外の方言形翻訳に話者の意識が集中しがちであったためである。なお、話者と同席者1は、項目に対して交互に発話し、意見を述べあうこともあった。

⑥その他:

(1)発話をカタカナで表記する。

(2)アクセントは棒引きで表す。下線を付した部分が、高い部分を表す。例(頭が):あたまが(LHHL)

(3)↑は上昇イントネーション、↓は下降イントネーションを表す。

(4)アクセントとイントネーションは、感動詞・文末表現等において、符号を厳密に使い分けることのできない箇所も存在している。

(5)回答者による解説は()、調査者による注記は< >内に記す。

(6)同席者1(荻野たまよ)にも、話者(山田正一)と同時に同様の調査を実施した。

(7)話者による回答文が単一の時は、文頭に○を、複数回答の場合は、①/②で示す。その際、質問文の一部分についてのみ異なる場合は[]内に、副助詞部分についてのみ異なる場合は{ }内に丸数字とともに記す。

(8)同席者1の回答は、副助詞部分に関して、話者と異なる言語形式が得られたケースについてのみ、提示する。その際、文頭に☆を付す。副助詞部分についてのみ異なる場合は{ }内に、質問文の一部分を含んだ副助詞部分については[]内に、記す。複数回答が得られた場合は、丸数字で示す。

(9)第一回答は、二順目のものを基本とした。項目番号7, 17, 19, 49, 67, については、二順目の回答に副助詞相当部分の回答が得られなかったので、一巡目の回答を第一回答としている。二順目を第一回答としたのは、基本的に質問文全体の回答が得られているためである。

II. 調査結果

(1) 添加・例示・提題などをあらわすもの

A. 添加

1. 雨だけでなく風さえ吹いてきた。 ○アメーバッカデー ナクテー カーゼモ フイテキター ↓
{☆サエ}

2. 今年は豊作で、米ばかりか麦もよくとれた。

○コトシャー アタリドシデ コノ バッカリカ ムギモ ヨク トレタヨ ↓

B. 予想外の事実

3. 小学生でさえ簡単にワープロを使っている。

①ショーガッコーノ セートデセー カンタンニワープロオ ツカッテルヨ ↑
{②デサエ/③デモ}

4. (宝くじが)当たると思っていなかっただけに嬉しい。

①タカラクジナンテ アタルト オモッテイナカッタンダケンド アタッテ ウレシーヨ ↑ /
②タカラクジガ アタルナンチャー オモッテイナンダケド アタッチャッテ ウレシーヤ
[☆イナカッタダケニ]

C. 条件

5. 暇さえあれば釣りに行っている。 ○ヒマセー アレバ ツリニバッカ イッテイセガッテ
{☆サエ}

D. 例示

6. まあお茶でも飲んでください。 ①ドーデー オチャデモ ノンデ クダサイヨ ↓ /
②マー カラッチャデモ ノンデクレンケー ↓
[②クレンカ] (自然)

7. みやげにはこのまんじゅうなどどうかな。

○オミヤゲニワ コノ マンジュウナンカ ドーダカナー ↓

8. 思わず跳び上がるほど嬉しかった。 ①オモワズ トビアガッタホド ウレシカッタ
[②トビアガルクレー]

9. まさかあなたにまで話が行くとは思わなかった。

○マサカー オマエントコマデ ハナシガ イクター オモッチャイナカッタナー ↓

10. なぐるやら蹴るやらの乱暴をはたらいた。

①ブンナグルヤラ ケトバスヤラノ ランボーオ ハタライタ
[②ブッサラッタリ ケラエタリ] (ブッサラウ:ぶん殴る)

11. 私になり相談してくれば良かったのに。

①オンニナリ ソーダンシテクレレバ ヨカッタケンドナー↓

[②オレンデモ ソーダンシテクレリヤー]

12. 野菜なんていくらでもできる。 ①ヤサイナンテ イクラデモ デキルヨー↓

{②クレー}

一対の例示

13. しょうゆだってみそだって作っていたんだ。

①ショユダッテ ミソダッテ ウチジャー ツクッテタンダノ

[②ショユヤ ミソダッテ] (～ダッテ～ダッテより自然)

択一

14. 私なり弟なりがお手伝いに行きます。

①オレナリ オトトナリガ テツダイニ イキマスヨ↓ノ

②オレデモ オトトデモ イツデモ テツダイニ イクケンドナー↓

例外でない

15. 村長とて、そうするより仕方なかったんだらう。

○ソーンチョーダッテ ソースルヨリ シカタガ ナカッタダーナー↓

列举

16. 春らしくなって、梅も桜も一度に咲いた。

①ハルノヨーナ ヨーキソ ナッテ ウメモ サクラモ イッショニ サイタヨ (不自然)

[②ウメヤ サクラモ] (自然)

同類の暗示

17. テレビもそろそろ買い替えよう。 ○テレビモ ボツボツ カイカエルカ

やわらげ

18. まあお茶でも飲んでください。 ①マーマー オチャデモ ノンデ クダサイヨー↓

[②クレンカー↓] (自然)

E. 包括

19. 盆には子や孫などが帰ってくる。 ①ボンニワ コドモヤ マゴナンカガ カエツテクル

[②ボンニヤ] [☆マゴナドガ]

F. 提題

20. ゲートボールだってできるよ。 ○オレニワ ゲートボールダッテ デキルヨー↑

{☆モ}

話題に上げる

21. 何だい、いいことって。 ①ナンダー イーコトツテ↓

[②ナンデー]

極端なもの提示

22. そんなこと子供にでもできるよ。

①ソーンナ カンタンナコト コードモンデモ デキルヨー↓

②ソクレーノ コター コードモダッテ デルヨー↓ (デルヨーはデキルヨーの言い誤りか)

{☆ニダッテ}

23. 食べることにくらは何かしたい。 ①タベルコトグレー ナントカ シタイヨー
 {②クレー}
24. 名前すらろくに覚えていない。 ○ナーマエダッテ ロクニ オボエテネー ジャーネカー↓
 {☆スラ} (ダッテとはニュアンス違う)
25. 弁当代に千円もかかった。 ①エー↑ ベントーダイニ センエンモ カカッター↑
 ②ベントーダイニ センエンモ カカッチャッタ

軽いものをあげる

26. これさえあればもう大丈夫だ。 ○コレセー アリヤ モー ダイジョブダヨー
 {☆サエ}

(2)分量・程度・基準などをあらわすもの

G. 分量・程度

27. 旅行で三日ほど家をあけた。 ○リョコーデ ミッカバカ イエオ アケタ
 {☆①バッカ/☆②ホド}
28. 茶碗に半分くらいください。 ①チャワンニ ハンブンクレー クレンカー↓
 [②ハンブンバカ クダサイ]
 {☆グレー}
29. 子供にでもわかるくらいのやさしい本だ。
 ○コードモデモ ワカルクライ ヤサシニ ホンダナー↓
 [☆ワカルクレー] (クライより普通)
30. 一週間ばかり留守にするので頼むよ。
 ①イッシューカンバカー ルスニ スルカラ タノムヨー↑イッシューカンバカ現在) /
 ②イッシューカンクレー ルスニ スルケンド タノムヨー↓(イッシューカンクレー昔・男性)
 {☆バッカ}

II. 基準

31. 今年の寒さは去年ほどではない。 ①コトシノ サムサー キョネンホドデモ ネーナー↓ (現在)
 [②キョネンノ ヨーデモナイ] (子供の頃)
 {☆ホドデワ}

I. 理由

32. ちょっと油断したばかりにとんでもないことになった。
 ①チョーット ユダンシタバカリニ トーインデモネー コト(ニ) エッチャッタ↓
 {②バッカリニ} <(ニ)は、イに近いか?>

J. 「それにふさわしく」

33. 苦労しただけあって人間ができています。
 ①アイツァ クローシタダケアッテ ニンゲンガ デキテ(イ)ルナー↓ / <(イ)は一拍分ないか?>
 [②デッテラーナー↓]
34. 毎日孫の守りやなんかで忙しい。 ①マイニチ マゴノ モリナンカデ イソガシーヨ

[②オコモリヤ ソノホカノコンデ]

〈オコモリ:守り〉 (モリ言わない)

「それこそ」

35. それこそバケツをひっくりかえしたような大雨だ。

○ソリャー バケツオ ヒックリカエシタヨーナ オーアメダー↓

{☆ソーレコソ}

「～ばかりか」

36. 父ばかりか母もスポーツ好きだ。

①オヤジバッカカー↓ オカーモ スポーツワ スキダー↓ノ

②オヤジバッカジャーネー↓ オフクロダッテモ スポーツガ スキダヨー↓

{☆バッカリカ}

K. 今にも行われる

37. もう食べるばかりにしてある。 ○モー クーバッカニ シテアルヨー↓

{☆バッカリ}

動作の完了直後

38. 今、仕事から帰ったばかりだ。 ○イマー シゴトカラ ケーツバッカリダー↓

基準

39. 駅までもうちょっとだ。 ○アー エキマデ チョーットダヨー↑

L. 等量の反復

40. 一人ずつ呼んで話をした。 ①ヒトリズツ ヨンデ ハナシオシタ

[②ヒトリツツ] 〈誘導〉

M. 等量の配分

41. 一人に二個ずつみかんをやる。

①ヒトりに フターツズキ ミカン ヤッタヨー↑ 〈フタツツキはフタツツツの言い誤りか〉

[②フターツツツ] (みかんについてはフタツツツ言わない: 〈誘導〉) に対するコメント)

(3) 限定・限界をあらわすもの

N. 限定

42. 酒はたまにしか飲まない。 ○サキヤー タマーニシカ ノマンネー↑

43. 今朝は寝坊をしてバンだけ食べてきた。

①ケサー ネボーシテ バンダケ タベテキタバッカダヨー↓

[②ネボーシチャッテ バンダケ タベテキタダケンド]

44. そんなに勉強ばかりしていると体に毒だよ。

①ソーンナニ ベンキョーバッカ シテルト カラダニ ドクダヨー↑

〈バッカをバッカリと意識して発話しているらしい〉

[②ドクジャーネーカ]

45. うちの田が残っているきりで、よそは全部終わった。

○ウーチノ タガー ノヨツテルバッカデー↓ ヨソワ ゼンブ ヘー オワッチャッタヨー↑

[☆ノヨッテルッキリデー↓](今の言葉)

O. 強調

46. もうこれだけしかないよ。 ①モー コンダケシカ ナイヨ↑

[②ネーヨ↑]

47. 今年こそいい年にしたい。 ○コートシヨソ イートシニ シタイナー

P. 限界

48. これだけ言っても分からないのか! ①コーンナ ユッテモ ワカランノカー↓

[②ワカランダカー↓]

49. 2千円ぐらいまでなら何とかなる。 ○ニセンエンクレマジャー エントカエルケンドナー↓

[☆クレマデナラ]

(I)陳述的なもの

Q. 「～ば～だけ」

50. 肥料をやればやるだけよく育つ。 ①コヤシオ ヤレバ ヤルダケ ヨクデルヨ↑ (デル:育つ)

[②ヨクデルケンドナー↓]

「仮定形・ば・こそ」

51. 心配すればこそ言うんだ。 ①シンバイスルカラコソ ユーダヨ↑

②シンベースレバコソ ユーンダヨ↓

「こそ・仮定形」

52. 彼は文句こそ言え、人の言うことなど聞かない。

①アーイツワ モーンクバッカ ユッテ ヒトノ ユーコトワ キカンダヨ↑

[②モーンクバカ/☆モンクユソイエ]

53. 「～でこそあれ《コサレなども》」という言い方はありますか。 (○言わない)

「未然形・ば・こそ」

54. 押しても引いても動かばこそ。 (○言わない) [☆ウゴカバユソダヨ↑]

「～こそ。」

55. 失礼なことを言わないでこそ。 (○言わない)

「～こそ～が」

56. 今でこそ家から出ないが、昔はよく出歩いていた。

○イマジャー ウチカラ デンケンド ムカシャー ヨク デアルイテイタヨ↑

「～ば～ほど」

57. 働けば働くほどもうかる。 ①ハタラケバ ハタラクホド モーカルサー↓/

②ハラタキャー ハタラクホド モーカルヨ

R. 打ち消しとの呼応

58. 村長に聞くまでもないことだ。 ○ソンチョーニ キクマデモ ネーコンジャンカー↓

否定との呼応

59. 朝から忙しくて昼飯も食えない。

①アサカラ イソガシクテ ユーメシモ タベナー (ユーメシ:夕飯、昼飯の間違い) /

②アサッカラ イソガシクツテ ヒルメシモ クツチャイナー↑

否定的取り上げ

60. こんなものなどいくらでもあるよ。 ①コンナモナー イクラデモ アルヨー↓/
②コンナモノクレ ナーンボデモ アラー

全面否定

61. 誰だってそんなことを言われたら怒るよ。
○ダーレダツテ ホンナコト イワリヤー オコラー↓ アタリマエノ ユンダヨー↓

S. 次の動作が不可能

62. 10年前に故郷を離れたきり、一度も帰っていない。
①ジューネンマエ ウチオ デタツキリ イチドモ カエツチャコンヨー↓

(5)モダリティー的なもの

T. 不確かな気持ち

63. いつのまにやら眠ってしまった。 ○イツノマニカ ネイツチャッタナー↓
64. 何のことか分からない。 ①ナーンノ コトダカ ワカランヨー↓/
②ナンノ ユンダカ ワカランナー↓
[☆コトカ]

推定

65. 後で遊びに行くかもしれない。 ①アートデ アソビニ イクカモシレンナー↓/
②アートデ アスビー イクカモシレンドー↑

どちらやら分からない

66. 来るのやら来ないのやらよく分からない。 ①クールダカ ユンダカ ヨク ワカランナー↓/
[②クルヤラ コナイヤラ]
[☆クルノカ ユナイノカ]
67. どこやらへ引っ越したそうだ。 ①ドコエダカ ヒツユシタソーダヨ↑

U. 非難

68. お父さんたら今日も遅いのね。 ○オヤジサンタラ キョーモ オソイナー (タラ普段言わない)
69. お父さんてば、子供のようなことを言っ。 ○オヤジサンテバ コドモノ ヨーナコト イツテ↓
(テバ普段言わない)

Ⅲ. 総括(まとめ)

1. 副助詞について(表1参照)

①以下の「まとめ」には、話者(山田正一氏)の回答のみ用いる。表1は、話者の副助詞に関する回答によっている。

②調査票69項目のうち、副助詞部分に対して回答が得られた項目は61。項目番号4, 35, 48, 51, 52, 53, 54, 55, 56については、回答が得られなかった。下線を付した7項目は、全て「こそ」に関連する項目である。他の二項目は、「だけ」に関連する項目である。

表1. 甲府市方言の副助詞一覧(話者の回答による) 配列は第一回答の五十音順(空欄は回答なし)			
00(項目NO.)質問文	第一回答	第二回答	第三回答
60. こんなものなど		クレー	
63. いつのまにやら	カ		
64. 何のことか	カ		
65. 行くかも	カモ		
29. わかるくらい	クライ		
28. 半分くらい	クレー	バカ	
23. 食べるくらいは	グレー	クレー	
17. 今年こそ	コソ		
12. たまにしか	シカ		
16. これだけしか	シカ		
11. 二個ずつ	ズキ	ズツ	
10. 一人ずつ	ズツ	ツツ	
03. 小学生でさえ	セー	サエ	モ
26. これさえ	セー		
05. 暇さえ	セー		
67. どこやらへ	ダカ(エダカ)		
66. 来るのやら来ないのやら	ダカ～ダカ	ヤラ～ヤラ	
33. 苦労しただけ	ダケ		
13. ハンだけ	ダケ		
15. 村長とて	ダッテ		
21. 名前すら	ダッテ		
61. 誰だって	ダッテ		
13. しょうゆだってみそだつて	ダッテ～ダッテ	ヤ～ダッテ	
20. ゲートボールだつて	ダッテ		
68. お父さんたら	タラ(普段言わない)		
62. 離れたきり	ツキリ		
21. いいことって	ッテ		
69. お父さんてば	テバ(普段言わない)		
22. 子供にでも	デモ	ダッテ	
18. お茶でも	デモ		
06. お茶でも	デモ		
11. 私になり	ナリ	デモ	
14. 私なり弟なり	ナリ～ナリ	デモ～デモ	
19. 孫など	ナンカ		
34. 守りやなんか	ナンカ		
07. まんじゅうなど	ナンカ		
12. 野菜なんて	ナンテ	クレー	
50. 肥料をやればやるだけ	バ～ダケ		
57. 働けば働くほど	バ～ホド	キャー(クケバ)～ホド	
27. 三日ほど	バカ		
30. 一週間ばかり	バカー	クレー	
32. 油断したばかりに	バカリニ	バッカニ	
37. 食べるばかり	バッカ		
14. 勉強ばかり	バッカ		
15. 残っているきり	バッカ		
36. 父ばかりか母も	バッカカー～モ	バッカジャーネー～ダッテモ	
38. 帰ったばかり	バッカリ		
31. 去年ほど	ホド		
08. 跳び上がるほど	ホド		
19. 2千円ぐらいまで	マジヤー		
39. 駅まで	マデ		
09. あなたにまで	マデ		
58. 聞くまでもない	マデモ ネー		
01. 風さえ	モ		
17. テレビも	モ		
02. 麦も	モ		
25. 千円も	モ		
59. 昼飯も食えない	モ～ナー		
16. 梅も桜も	モ～モ	ヤ～モ	
10. 殴るやら蹴るやら	ヤラ～ヤラ	タリ～タリ	

③副助詞に関する回答が一つでも得られた61項目の総回答数は79回答であった。以下、項目・回答数について%表示する際の分母は、ここに示した数値とする。

④表1より、甲府市の副助詞は、基本的に調査票の質問文で提示された語形と同じであることが分かる。総回答中調査票の語形と全く同じものが41回答(51.9%)、調査票の語形とほぼ同じ回答(語形が何らかの変化を起こしたと考えられるもの)が18回答(22.8%)で、同じ・ほぼ同じを合計すると59回答(74.7%)となっている。調査票の語形と別の語形は20(25.3%)回答あった。

⑤調査票とほぼ同じ語形18回答における「何らかの変化」は、促音添加(例バッカ(リ))・脱落(例バツカ)・連母音の融合(例クレー・セー)が目立つ。言い誤りが推測される1例を除き、いずれも稲垣正幸・清水茂夫(1983)において指摘されているような当該方言で観察される事象である。促音添加については、話者・同席者1から「強調の際、ッが入る」との内省が得られているが、必ずしも強調だけが関係しているわけではないようである。また、当該方言を含む中部方言や隣接する関東方言にもみられる特徴で、当該方言固有のものとは考えられない。「何らかの変化」の内訳は、以下の表2通り。ただし、複数の「変化」が確認される回答もあるため、合計は18にはならない。

表2. 調査票とほぼ同じ語形における「変化」の内訳

「変化」の種類	度数	具体例(度数「調査票項目」)
促音添加	8	バッカ(リ)(6「ばかり」)/ツッキリ(1「きり」)/ツツ(1「ずつ」)
脱落	7	バ(ッ)カ(6「ばかり」)/ツツ(1「ずつ」)
連母音の融合	6	クレー(3「くらい」)/セー(3「さえ」)
何らかの融合	2	マジヤー(1「まで(は)」)/キヤー(1「(け)ば」)
連濁化	1	グレー(1「くらい」)
言い誤りか?	1	ツキ(1「ずつ」)

⑥調査票と別語形が得られた20回答も、当該方言独自の語形は確認できない。「やら」・「など」の語形が他の語形に置き換えられる傾向や、「くらい」と「ばかり」がどちらの系統の語形を用いてもよいらしいという傾向がうかがえる。20回答の内訳は、以下の通り。例:回答語形(項目NO. 項目語形)
カ(63. やら)/クレー(12. なんて, 30. ばかり, 60. など)/ダカ(67. やら)/ダカ〜ダカ(66. やら〜やら)/ダッテ(15. とて, 22. でも, 24. すら)/タリ〜タリ(10. やら〜やら)/デモ(11. なり)/デモ〜デモ(14. なり〜なり)/ナンカ(7. など, 19. など)/バカ(27. ほど, 28. くらい)/バッカジャーネー〜ダッテモ(36. ばかりか〜でも)/モ(3. さえ)/ヤ〜ダッテ(13. だって〜だって)/ヤ〜モ(16. も〜も)

2. その他(例の数字は、項目番号)

①複合動詞の前部成素をいかしたアクセント型が多く確認された。例:10. ズンナグル/ケトバス

②共通語アクセントと異なるアクセント型も確認された。例:19.&34. マゴ/44. カラダニ/65. アンビニ

③文頭、あるいは文節頭の一拍目を長音化する傾向がみられた。感情移入(強調)あるいは読み癖か?

④稲垣正幸・清水茂夫(1983)において山梨県東部方言的とされた事象が出現している。いずれも、関東方言・首都圏方言との接触による結果か? 例:26. アリヤ/66. コナイ

【参考文献】

稲垣正幸・清水茂夫(1983) 「山梨県の方言」(『講座方言学6 中部地方の方言』/国書刊行会)

自治大臣官房文書課(1997) 『地方公共団体総覧 北陸・甲信』(ぎょうせい)

(たなか ゆかり 日本大学)